

セミの抜け殻実験

セミの抜け殻をすだれにくっつけた翌日、全部落ちていることに気づき、「でこぼこのところにはくっつくはずなのに！」と。
そこでどこにならセミの抜け殻がくっつくか実験が始まりました。



ここならくっつきそう！

いろんな素材の中から波ダンボール、麻紐、布、画用紙、花紙を選び、くっつけると麻紐が一番よくくっつくことを発見しました。



←実験結果を、子どもたち自身でまとめていました。



生き物ニュース

赤ちゃんが続々と誕生！

子どもたちがとても大切に育てていることもあり、色んな種類の赤ちゃんが誕生し始めています。カタツムリにカブトムシ、ザリガニと小さくても大人と一緒にの形をしている生き物もいて、とても可愛いです。赤ちゃんが生まれた事により、子どもたちも今まで以上に生き物の大切さを感じているようで、お世話を頑張っています。これから小さな生き物がどんどん大きくなる姿を楽しみにしている子どもたちです。



おおきな木を作りたい！



セミの抜け殻実験を経て「セミの抜け殻がくっつく大きな木を作りたい！」と子どもたちからアイデアが。長い筒を芯にして、保育者の背よりも大きな木を協力して作り始めました。

「茶色い紙を巻き付けて、そこからクレパスで塗ろう！」
「沢山色を塗りたいから、やっぱり絵の具がいいよ。」と素材や用具を相談し合いながら、何日もかけて作っています。



ここは蜜にしたいから黄色く塗ろうよ。

カブトムシとかも折り紙でくっつけてみない？

大きな木は作れたものの「全然立たない！」ペットボトルに紙を詰めておもりにしたりダンボールに張り付けたりと、アイデアは次々と出てくるのに、なかなか思うように立たないことに困り始める子どもたち。

「ペットボトルがもっといるよ。その中に砂と石を入れたらいいかも。」と考え、木の下にくっつけると、見事立たせることに成功！「ついに木が立った！」とイメージしたことが実現し、大喜びの子どもたちでした。

木に麻紐をつけてセミの抜け殻がくっつくようになった今、次は葉っぱと枝を増やしたいと奮闘しています。今後も協力する姿、自分達で考え抜く姿を大切にしていきたいと思います。

